

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
概要	<p>町には多様な自然環境や歴史・文化等の地域資源が多数存在しており、その環境を暮らしの中に取り込むことで、住環境の魅力が形成されています。</p> <p>この魅力を町内外を問わず多くの人々に実感してもらうため、町の自然や歴史・文化等に触れられ、体験できる機会づくりを進めます。また、進学や就職等により町外へ転出しても、将来、生まれ育った二宮町に戻って子育てしたいと思ってもらえるよう、子どもたちに対して二宮町の自然や歴史、文化に触れられる機会づくりを進めます。</p> <p>観光で町を訪れた人が二宮に来ると「面白い」、「楽しい」と感じてもらい、「いずれは二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるよう、観光情報の提供に努めつつ、「にのみやLife」の提案を推進していきます。</p> <p>さらに、ホールや図書館等を兼ね備えた生涯学習センター・ラディアンは町の文化・芸術活動の拠点であることから、多様な世代が集い、学習を深め、交流する場として、町内外への発信力を強化します。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	生涯学習振興事業 (No.27)	3	98.8	66.7	33.3	0.0	0.0
(2)	青少年育成支援事業 (No.28)	4	94.9	50.0	50.0	0.0	0.0
(3)	家庭・地域・学校の協力連携事業 (No.29)	1	91.5	0.0	100.0	0.0	0.0
(4)	スポーツ活動振興事業 (No.30)	2	84.6	50.0	0.0	50.0	0.0
(5)	スポーツ推進団体支援事業 (No.31)	2	92.1	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	文化振興事業 (No.32)	1	98.3	0.0	100.0	0.0	0.0
(7)	ふるさと教育推進事業 (No.33)	3	85.9	66.7	33.3	0.0	0.0
(8)	公園整備・管理事業 (No.43)	2	98.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(9)	自然保護事業 (No.44)	1	99.4	100.0	0.0	0.0	0.0
(10)	緑と花いっぱい推進事業 (No.45)	1	97.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(11)	松くい虫被害対策自主事業 (No.46)	1	90.9	100.0	0.0	0.0	0.0
(12)	環境保全推進事業 (No.47)	1	53.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(13)	美化推進・動植物保全事業 (No.48)	3	88.7	100.0	0.0	0.0	0.0
(14)	水産振興事業 (No.63)	1	79.2	100.0	0.0	0.0	0.0
(15)	漁港整備事業 (No.64)	1	74.8	0.0	100.0	0.0	0.0
(16)	観光まちづくり推進事業 (No.69)	1	97.8	0.0	100.0	0.0	0.0
(17)	地域コミュニティ支援事業 (No.77)	1	98.8	100.0	0.0	0.0	0.0
(18)	地域間交流事業 (No.78)	1	35.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(19)	ボランティア活動支援事業 (No.79)	1	-	100.0	0.0	0.0	0.0
(20)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の担い手としてのコミュニティ・スクールの仕組み作りが必要。 ・従前より継続しているイベント事業等について時代に合った見直しが必要。 ・様々な関わりを持っていただいている町民の方々の高齢化。
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある		B
	説明	・「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」については、これまでも、行政以外の部分で様々な取り組みが行われている。引き続き関係する団体等との連携等を図りつつも、役割分担を検証し、効果を発揮するような改善が求められている。	

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	・人口減少、高齢化社会が進行する中で、従来通りの事業を継続することについて見直す時期に来ている。「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」は大切な視点だが、位置付けられた各種事業については、継続するか否か、担い手は誰か、費用負担はどうあるべきかなどの検討が必要。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	<p>環境と風景が息づくまちづくりを実現するためには、二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後、さらに推進するために、文化団体等と連携し、町民が心豊かで潤いのある生活を送れるよう、地域の歴史や文化に触れ、学ぶ機会の支援に引き続き努める。また、生涯学習をより充実させるためには、町民による自主的、主体的な活動が必要になるため、すでに活動している団体等と連携し、地域の中での活動へつなぎ、継続的に活動できるよう促進するとともに、地域での活動を通じ、地域への愛着を育む場としても結びつけていく。</p>						